

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-10-26

なし

(発行年 / Year)

1910

規定ヲ設ケテ其主旨ヲ明カニシテ既成法典ノ缺點ヲ補ヘリ

第四百二十四條

本條ハ既成法典財産編第三百四十三條ノ規定ニ依ルモノニシテ同條前段及ヒ但書ノ規定ハ特ニ法文ヲ要セサルニ因リ總行^ト之ヲ刪除シ獨リ同條後段ハ詐害者爲取消ノ結果ヲ規定スルモノニシテ若レ此明攻ナキトキハ判決ノ效力ハ當事者間ニ止マルトノ原則ニ從ヒ詐害者爲ノ取消ヲ請求シタル債權者ノ其利益ヲ受クヘレトノ疑ヲ生ゼルモノニ因リ本條モ亦特ニ本條ノ明文ヲ存シ詐害者爲ノ取消ハ總債權者ノ利益ノ爲メニ其效力ヲ生スル旨ヲ規定セリ

第四百二十五條

本條ハ既成法典財産編第三百四十四條ニ附加修正ヲ加ヘテ即チ本條ハ消滅時効ノ適用トシテ二十年ヲ以テ其期間ト爲レタルニ因リ自ラ既成法典同條前段ニ掲クル消滅時効ノ期間ヲ變更セ又同條第二項ノ規定ハ既成法典第三百四十一條第二項ヲ刪除シタル結果トシテ當然^ト之ヲ刪却セリ

第四節 債權ノ讓渡

(理由) 既成法典ハ民法財産編第二章第一節第二項合意ノ效力ト題セル下ニ債權ノ讓渡ニ關スル總則ノ如キモノ尠ニ記名債權ノ讓渡ニ關スル規定ヲ置キ而シテ商法ニ於テ指圖證券及ヒ無記名證券ニ關スル規定ヲ稍詳細ニ設ケタルトモ今之ヲ一括シテ民法中ニ置クヲ可ナリト信シ多數當事者ノ債權ニ次テ本節ヲ設ケタルナリ佛法及ヒ佛法主義ニ法律ハ總テ之ヲ賣買法ノ一部トスレトモ債權ノ讓渡ハ決シテ賣買ニ限レルモノニアラザルカ故ニ宜シク之ヲ債權ノ總則中ニ置クヘキモノトス而レテ又外國ノ法律ニハ債權讓渡ノ規定中ニ擔保ニ關スル法文ヲ挿入スルモノ多キモ擔保ノ事ハ寧ろ其適用ノ尤モ廣キ賣買ノ規定中ニ入レテ之ヲ他ニ準用スルヲ便ナリト信レ本節ニハ之ヲ掲ケザルコトトセリ

第四百六十九條 債權ハ之ヲ讓渡ススコトヲ得但^レ其性質カ之ヲ許ササルトキ又ハ特別契約ヲ以テ之ヲ禁シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ特別契約ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

(理由) 既成民法財産編ニハ本條ノ如キ明文ナレ共之ヲ掲ケザリシ決シテ本條ニ反對ノ精神ニアラズシテ却テ當然言ヲ待マスト信シタルモノ因ラナラシ猶物權ノ讓渡ヲ明許スルモノニシテ之ヲ讓渡ススコトヲ得ルハ當然ナルカ如シ且既成法典ニ於テ一般ニ債權ノ讓渡ヲ許セルコトハ其財產取得編第五百十九條ニ於テ或ル種ノ債權ハ當然讓渡スコトヲ得ストレ他種ノ債權ハ設定者之ヲ讓渡スコト

ト得スト定ムルヲ得トセルニ依リテモ之ヲ知ルヲ得テ財産編第二十七條及第二十九條等ノ規定ヲ見レハ其主意ニ明カリ債權ノ讓渡ハ外國ニ於テモ亦一般ニ許ス所ニテ殊ニ白國民法章案ノ如キハ當事者ノ合意ヲ以テ債權ヲ不讓與物ト爲スコトヲ得スト定ムレドモ本案ハ此點ニ關テハ既成法典及モ諸外國ノ法律ト全ク同一ノ主義ヲ採ルニ拘ハラス之ヲ明掲セル所以ハ我國若モ慣習トシテ債權ノ自由讓渡ヲ認メス今尙往々之ヲ禁ズヘト唱フル者アルヲ以テ若レ之ヲ明許スルノ條文ヲ掲ケサルトキハ其許否ニ關シテ或ハ疑ヲ懷クモノナキヲ保セザレバナリ債權ハ自由ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ルヲ原則トシ唯或作爲ノ義務ヲ目的トセル債權ノ如ク其性質上之ヲ讓渡スコトヲ得サルモノ又ハ當事者ノ特別契約ヲ以テ其讓渡ヲ禁ズルモノハ例外トシテ讓渡スコトヲ得ザレドモセリ或ハ特別契約ヲ以テ債權ノ讓渡ヲ禁ズルコトヲ許ストキハ讓渡人ト讓受人トノ共謀ニ因リ讓受人ノ債權者ヲ詐害スルノ弊ヲ生ズヘシト云フ者アレドモ不讓與物ヲ差押ヘテ債務ノ辨濟ニ供セザル物トスルコトヲ要セザレハ債權者ハ此合意ニ因ル不讓與物ヲ差押ヘテ債務ノ辨濟ニ供セザルモノトスヘク從フテ論者ノ恐レカ如キ甚キ弊弊ヲ生ゼサルヘシ

本條第二項ヲ設ケタルハ當事者ノ契約ヲ以テ善意ノ第三者ヲ害スルコトヲ得ザラレメ爲メナリ第四百七十條 指名債權ノ讓渡ハ讓渡人カ之ヲ債務者ニ通知シ又ハ債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ之ヲ以テ債務者其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス前項ノ通知又ハ承諾ハ確定日附アル證書ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ以テ債務者

以外ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

(理由) 本條ハ既成法典財産編第三百四十七條第一項ニ其大體ノ主意ヲ同シレド唯左ノ三點ニ於テ條正ヲ施シタルノミ

一、既成法典ニ於テハ讓受人カ其讓受ケタル債權ヲ債務者ニ對抗スルニモ合式ハ通知若クハ證書ヲ以テスルハ承諾ヲ必要トシテトモ本案ニ於テ證書ヲ要スルハ單ニ此讓受ケ債務者以外ノ第三者ニ對抗スル場合ニ限リ蓋シ債權者ト債務者トノ間ニアリテハ單純ナル通知若クハ承諾ヲ以テ十分ナリトシ證書ヲ必要トスルハ果他ノ第三者ニ對シテ詐欺ノ生ズルヲ防ケンカ爲メナリ果レテ此目ノ二因リテ證書ヲ要スルモノトセハ其證書ニハ必ラス確定日附ヲ附セザルヘカラス而シテ之ヲ附スル方法ノ如キハ特別ノ細則ヲ以テ規定スヘキモノトス

二、既成法典ハ前述ノ通知ヲ讓受人ヨリ爲スヘキモノトシ且之ヲ以テ十分ノ通知ナリトスレドモ讓受人自ラ其讓受ケ通知シテ債務ヲ請求レ得ルモノトスルトキハ正當ノ讓受ケ得ル者モ往々自在ニ讓受ケ通知シテ債務者ヲ欺キ以テ其辨濟ヲ受ケル等ノ惡レナレトセザルコト以テ本案ハ改メテ通知ハ讓渡人ヨリ之ヲ爲スヘキモノトセリ其此ノ如ク改メタルハ登記法ニ於テ登記ハ財産ノ讓受人ノ隨意ニ之ヲ爲シ得サルモノトセルト同一ノ精神ナリトス

三、既成法典ハ前述ノ通知若クハ承諾ヲモ尙其第三者ニ對シテ債權ノ讓受ケ對抗レ得ルモノトスルモ本案ヲ知ルトキハ通知若クハ承諾ヲモ尙其第三者ニ對シテ債權ノ讓受ケ對抗レ得ルモノトスルモ本

案ハ先キ二物權ノ讓渡ヲ第三者ニ對抗スルニハ動産ノ引渡者タハ不動産ノ登記ヲ絕對的ノ要件ト爲
レタルカ如ク債權ノ讓渡ニ於テモ亦通知若クハ承諾ヲ絕對的ノ要件トシタリ

第四百七十一條 債務者カ留保ヲ爲サスシテ前條ノ承諾ヲ爲シタルトキハ讓渡人
ニ對抗スルコトヲ得ヘカリシ事由アルモ之ヲ以テ讓受人ニ對抗スルコトヲ得ス
但債務者カ讓渡人ニ拂渡シタルモノアルトキハ之ヲ取返シ又讓渡人ニ對シテ負
擔シタル債務アルトキハ之ヲ成立セザルモノト看做スコトヲ妨ケス

讓渡人カ讓渡ノ通知ヲ爲シタルニ止マルトキハ債務者ハ其通知ヲ受クルマテニ
讓渡人ニ對シテ生シタル事由ヲ以テ讓受人ニ對抗スルコトヲ得

(理由) 本條ハ既成法典附條第三百四十七條第二項及第七百五十七條ヲ併合シテ其意ヲ擴張敷
衍シタルニ過キス第三百四十七條第二項ハ單ニ債務者ハ讓渡ヲ承諾シタルトキハ讓渡人ニ對スル抗
辨ヲ新債權者ニ對抗スルコトヲ得ストレ讓渡ノ以前ニ既ニ辨濟更改若クハ相殺等ヲ爲タタルトキハ
之ヲ如何スヘキヤヲ詳カニセス而シテ第五百一十七條ハ單ニ相殺ニ關レテ言ヘルノミナリヲ以テ茲
ニ本條ノ如ク修正シテ一切ノ場合ヲ明カニ規定シタリ

第四百七十二條 指圖債權ノ讓渡ハ其證券ニ讓渡ノ裏書ヲ爲シテ之ヲ讓受人ニ交
付スルニ非ザレハ之ヲ以テ債務者其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

(理由) 既成法典ハ本條ノ規定ヲ商法中ニ置キ雖モ指圖證券ノ讓渡ハ決シテ商事ニ特別ノモノニ非

サルカ故ニ本條ニ於テハ其一般ノ原則ハ之ヲ民法ノ揚ク唯商事ニ限リテ適用スヘキモノノミヲ商法
ニ讓ルコトトセリ本條ハ商法第三百九十四條ニ修正ヲ加ヘタルニ過キス而シテ原文ハ指圖債權ヲ金
額又ハ商品ノ引渡ニ係ルモノニ限レルヲ以テ明文ヲ解釋上株式ノ如キモノハ裏書ニ依リテ之ノ讓
スコトヲ得サルノ結果ヲ生レ現今ノ時世ニ照レテ狹隘ノ感スルヲ以テ本條ハ之ヲ改メ債權ハ概シテ
指圖式ト爲スヲ得ルモノトシ之ヲ禁スルノ必要アル場合ニ限リテ明文ヲ揚クルコトトセリ尙原
文ニハ書面契約ヨリ生スル債權ト言ヘルヲ以テ或ハ口頭契約ヨリ生スル債權ハ之ヲ指圖式トモノト
スルヲ得サルヤノ疑ヲ生スルモ之レ畢竟其條辭ノ拙ナルニ過キスレバ既成法典ノ主意トスル所ハ蓋
シ書面ノ證據ヲ有スル債權ト曰フモノナルヘレ故ニ本條ニ於テ此文字ヲ省キタリ

商法第三百九十五條ハ性質上指圖式ノ證券ヲ其發行人又ハ裏書讓渡人ノ意思ニ依リテ之ヲ指圖式ノ
モノトスルヲ得トノ規定ナレトモ此ノ如キ規定ハ手形ノ場合ヲ除キテ他ニ殆シト其適用ヲ見ケルモ
ノナルヲ以テ債權讓渡ノ總則ニ之ヲ置クノ必要ナキナリ蓋シ手形ノ場合ニアリテハ其發行人或ニ總
テハ裏書讓渡人ハ悉ク債權請求權ニ服スヘキモノナルヲ以テ何人モ自己ノ信用スル者ノ外ニ之ヲ讓
渡サルノコトヲ好マサルヘク從テ其手形ヲ指圖式トモノト爲スニ必要アレトモ他ノ指圖證券ニア
リテハ讓渡ニ因リテ債權請求權ヲ生スルモノ極メテ少ノ個々ナル場合ニハ其場合ニ關シテ特別ノ
規定ヲ爲セハ可ナリト信シテ同條ハ之ヲ削除セリ

商法第三百九十六條ハ法律ノ明文ナクモ通常世人ノ爲メ所ナルヲ以テ之ヲ揚クルノ必要ナキヲ
五

ナラス之ヲ掲ケテ法定ノ要件ト爲ストキハ却テ些少ノ欠漏ヨリテ其證券若クハ之カ裏書ノ無效ヲ
惹起スルノ弊アルヲ以テ同條ハ之ヲ削除セリ殊ニ原文ニ於テ署名ト捺印ト二者ヲ併セ要スルモノト
スルカ如キハ重讀ニ失スルノ嫌アリ

商法第二百九十七條ニ於テ「當然言フヲ待テサル所ナレハナリ」既成法典ニ於テ「其財産編
第三百二十六條ニ當事者ハ證書ニ明示シタル原因ノ不成立暨空若クハ其不法ヲ反證スルヲ得」モノ
ト殊ニ本案ニ於テハ原因ヲ契約ノ原素トセザルニ因リ益同條ノ不必要ト感ス

商法第二百九十八條ノ規定モ亦明文ヲ要セザルモノナリ抑白地ノ裏書ナルモノハ畢竟裏書人カ債權
讓渡ノ意思ヲ表示シテ未ダ何人ニ之ヲ讓渡セザルモノナリ明カニセテ證券ノ讓受人ヲシテ自己ニ代ハリテ之
ヲ定ムルモノナルヲ以テ反對ノ條文ナキトモ之ヲ爲スコトヲ得ルハ當然ナリトモ獨リ手形ニ
至リテハ或ハ白地ノ裏書ハ方式ノ欠缺アルモノニシテ無効ナリと言フ者アルヲ以テ其無効ニアラサ
ル旨明揭スルノ必要ヨリテ諸國ノ手形法ニ其旨ヲ掲グルモノ多キモ未ダ一般ノ指圖證券ニ關レ
テ我商法ノ如キ條文ヲ掲グルモノヲ見サルナリ

商法第四百二條ハ當然言フヲ待テサル所ナリ其第四百三條ハ指圖證券ノ遠東セラレ又ハ紛失若クハ
滅失シタル場合ニ之ヲ無効トスル場合ヲ定ムルモノニシテ商法ニ之ヲ掲グルノ理由ナキニアラサ
ルモ既ニ民事訴訟法第七十七條以下ニ之ニ類スルノ規定ヲ設ケアルニ由リ今少シテ民事訴訟法
ニ修正ヲ加フルトキハ以テ商法第四百三條ノ意ヲ貫徹セシムルヲ得ヘキカ故ニ前掲ノ二條ハ總テ

之ヲ削除シ

第四百七十三條 指圖債權ノ債務者ハ其證券ノ所持人及ヒ其署名捺印ノ眞僞ヲ調
査スル權利ヲ有スルモ其義務ヲ負フコトナシ但債務者ニ惡意又ハ重大ノ過失ア
ルトキハ其辨濟ハ無効トス

(理由) 本條ハ既成法典商法第四百條ト其主意ヲ同シラス商法ニ於テ辨濟者ノ惡意又ハ其甚キ怠慢ア
ルトキハ之ニ依テ損害ヲ蒙リタル者ハ其賠償ヲ請求スルコトヲ得トセルヲ本案ニハ改メテ其辨濟
ヲ無効トシタルナリ蓋シ原文ノ如クストキハ讓受人ハ先ヲ不當辨濟ヲ得タル者ニ對シテ復還ヲ請
求シテ所請賠償トシテ發行人ニ請求スルニキコトナリ讓受人ニ煩累ヲ蒙ルコト頗ル大ナルヲ
以テナリ若シ原文ノ意ニシテ讓受人ハ直ストキハ惡意又ハ重大ノ過失アル辨濟者ニ對シテ請求ヲ得ルモノト
スルニアラハ寧ロ本條ノ如ク記載シテ其辨濟ヲ無効トスル旨ヲ明示スルヲ可トス既成商法ノ手形ニ
關スルノ規定ハ蓋シ本案ノ意ニ外ナラサルヘシ

商法ニハ單ニ「眞僞ノ調査スル權利アリトセルヲ本案ニ於テ修正レ所持人及ヒ其署名捺印ノ
眞僞ヲ調査スルノ權利アリトセリ

第四百七十四條 前條ノ規定ハ證券ニ債權者ヲ指名シタルモ其證券ノ所持人ニ辨
濟スヘキ旨ヲ附記シタル場合ニ之ヲ準用ス

(理由) 本條ノ規定ハ既成法典ニナキ所ケレトモ送金手形又ハ政府ヨリ出ス支拂會令ノ中ニハ債權者

七

ヲ指シテ而シテ辨濟ハ其證書ノ所持人ニ之ヲ爲スヘキ旨ヲ附記セル者多ク而シテ此等ノ證書ハ指圖證券ニアラス又純然タル無記名證券ニモアラサルヲ以テ本條ノ規定キトキハ之ヲ辨濟ニ當リテ債務者ノ有スル調査權ノ性質ニ疑フ生ズルノ恐アルヲ以テ尙連民法ニ依テ之ヲ揭ケタルナリ

第四百七十五條

指圖債權ノ債務者ハ其證券ニ記載シタル事項及ヒ其證券ノ性質ヨリ當然生ズル結果ノ外原債權者ニ對抗スルコトヲ得ヘカリシ事由ヲ以テ善意ノ譲受人ニ對抗スルコトヲ得ス

(理由) 本條ハ商法第三百九十九條及ヒ第四百一條ヲ併合シタルモノナリ右第三百九十九條ニ依リ發行人ハ受取證ヲ記シタル指圖證券ノ呈示及ヒ交付ヲ受ケテ金額若クハ商品ノ引渡ヲ爲スヘキモノトセルモ本條ハ既ニ受取證ニ關スル規定ヲ法文ニ規定セザルノ主義ヲ採リレヲ以テ指圖證券ノ場合ニ於テモ又之ヲ規定セザルコトトセリ同條ニハ指圖證券ノ發行人ハ豫メ引受ヲ爲サスト雖モ金額又ハ商品ヲ引渡ス義務アリト言フモ發行人自ラ支拂ヲ爲スニ豫メ引受ヲ爲スヲ要セザルハ言フ特ダサレコトニレレ且同條但書ノ事項モ本條ニ記載セル證券ノ性質ヨリ當然生ズル結果ト言ヘル中ニ包含セルヲ以テ併セテ之ヲ削除シタリ而シテ右第四百一條ニ依リ發行人ハ自己ニ關スル抗辨ニ依テ義務ノ履行ヲ拒ムヲ得ル旨ヲ明言スルモ是レ亦言フ特ダサル所アルヲ以テ削除シ此等ノ削除ニ依テ舊條ノ舊條トニヨリテ遂ニ本條ノ規定ヲ生レタルナリ

第四百七十六條

前條ノ規定ハ無記名債權ニ之ヲ準用ス

(理由) 本條ハ既成法典商法第四百四條ノ其主意ニ於テ大差ナレ既成法典ニ無記名證券ノ交付ノミヲ以テ之ヲ他人ニ轉付スルコトヲ得ト言ヘト本條ハ既ニ物權編ニ於テ無記名證券ニハ動産ノ規定ヲ適用スル旨ヲ明言シ而シテ動産ハ引渡ニ依テ其權利ヲ移轉スルモノトシタルヲ以テ無記名證券ノ單ニ交付ノミヲ以テ轉付シ得ルハ別ニ條文ヲ要セスレテ明カナルコトナレリ又原文ニ所持人ノ權利ハ證券ノ旨趣又ハ法律命令若クハ慣習ニ依リテ之ヲ定ムトモ寧ろ本條ノ如ク證券ニ記載シタル事項及ヒ其證券ノ性質ヨリ當然生ズル結果ニ依リテ之ヲ定ムヘキモノトシタルトキハ法律命令等ヲ包含シテ動産アルヲ以テ茲ニ原文ヲ改メ無記名證券ニハ前第四百七十五條ノ規定ヲ準用スルコトト

レタリ